

加賀城 健

染色展

一つのメルヘン



《Märchen #2》(detail) 2024年 染料、絹布／スキージによる糊置、スプレー染 115 x 500cm

2024

2025

12月14日(土) — 1月13日(月・祝)

開館時間：10：00-18：00 ※最終入場 17：30

休館日：毎週水曜、年末年始(12月25日-1月3日) 観覧料：無料

- ・主催 アートハウスおやべ [(公財)クロスランドおやべ]
- ・共催 小矢部市、小矢部市教育委員会
- ・後援 小矢部市芸術文化連盟、北日本新聞社、富山新聞社、読売新聞北陸支社、北陸中日新聞、朝日新聞富山総局、北日本放送、富山テレビ放送、チューリップテレビ、FMとやま、エフエムとなみ、となみ衛星通信テレビ
- ・協力 金沢美術工芸大学、the three konohana

アートの実験空間 2024-25 加賀城 健 染色展 一つのメルヘン

展示室1・2・オープンギャラリー

「アートの実験空間」は、新たな美の創造をめざす作家やグループに、既存の枠組みにとらわれない自由で実験的な作品発表の場を提供するものです。

加賀城 健(KAGAJI Ken, b.1974)は、糊防染を軸とした幅広い染色技法と素材の知識を礎に、工芸と美術、双方の領域の横断を志向した制作活動を続けています。「身体性」と「他力」を意識した制作の姿勢から、伝統的に完成された染色工程に「アドリブ」や「現象」を持ち込むことで、独自の糊染め表現の拡張に取り組んでいます。

本展では、中原中也の詩「一つのメルヘン」を着想の起点に制作した、最新作を中心に発表します。加賀城の作品の特徴でもある、長大な布と豊かな色彩を駆使した大胆な空間構成で、アートハウスおやべの会場を活かした展示をおこないます。

ぜひご覧ください。

アートの実験空間 2024-25

五つの表現 - 金沢美術工芸大学学生展

アートハウスおやべの開館に尽力した加賀谷武氏の母校でもある金沢美術工芸大学は、現在まで数多くの優れた人材を輩出してきました。昨年の新キャンパスへの移転を機に、共通工房のシステムを整備・充実させたことで、専攻や分野を越えた創作が推奨される環境となり、これからの学生の飛躍が大いに期待されます。

本展は、加賀城推薦の同大学に在籍する学生と大学院修了生計5名による展覧会です。彼らは工芸及び美術の素材や技法、各々が持ち合わせるテーマと真摯に向き合っています。困難の多い現代に、若い「五つの表現」が誰かの「メルヘン」になることを願います。



石井 佑字馬



友禪 石渡 結



染織 田中 宏和



彫刻 美崎 椎菜



友禪 矢賀 紀蓉佳

染色

【同時開催】

光のアートガーデン

オープンギャラリー

会期:2024年11月24日(日)- 12月24日(火)

時間:17:00-21:00 ※12/20~24は22時まで

作家:neutral production

出品作品:オープンギャラリーライティング

(光のインスタレーション)

小矢部市美術館 アートハウス おやべ

〒932-0821

富山県小矢部市鷺島10 クロスランドおやべ内

TEL: 0766-53-5344 FAX: 0766-53-5844

アクセス

・あいの風とやま鉄道 石動駅から 車で約5分(3km)

・北陸自動車道 小矢部.I.C.から 車で約10分(5km)

・能越自動車道 小矢部東.I.C.から 車で約7分(4km)

・三井アウトレットパーク北陸小矢部から 車で約7分(4km)
(無料駐車場:700台)

more information

<https://art-oyabe.jp/>



展示室 3

《Strokes #2》1999年
綿布、染料、パネル/スキージによる糊置、引染
182 x 182cm



《全部私》2023年
綿布、染料、布用ペン/指による糊置、スプレー染、線画
167 x 125cm

《Conductor》2020年
レーヨン・ポリエステル混紡布、染料、パネル/撒き散らす
糊置、引染 100 x 100cm



個展「Manipulation / Interchange」展示風景
(the three konohana・大阪、2022年)[参考作品]
撮影:長谷川 朋也